

科目名 Course Name	介護過程 I Process Planning for Care Work I			ナンバリング No.	J2-009		
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	和田 晴美						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>介護過程は、学んだ知識・技術を統合し、利用者個々のニーズを的確に把握して、求められる支援を導き実践する思考過程である。介護過程 I では、その思考過程が可能となるような、基本的な能力を養うことを目的とする。介護過程の意義や目的をふまえ、利用者の情報収集から計画立案、実施、評価、修正に至る一連の流れを理解できるように取り組む。</p> <p>①介護過程を行う目的を、説明できるようにする。                  ②介護過程の構成要素と、各段階で行う具体的内容が列挙できるようにする。                  ③利用者個々のニーズを把握するための、情報収集の内容と方法を説明できるようにする。                  ④利用者の視点での、目標が設定でき、具体的な計画を立案できるようにする。</p>						
授業の方法	介護過程の目的、構成要素について理解し、事例をもとに情報収集から実施・評価までの一連の流れを展開することで、「介護過程に沿った考え方」を学ぶ。情報収集の方法や、実施時の留意点を考えながら、一人でも介護過程の展開ができるように課題解決型学習を進める。						
学習成果	L01						
	L02	介護過程の一連の流れ(アセスメントから評価・修正)を説明することができる。					
	L03	紙上事例を用いて、利用者個々のニーズに合った計画を一人で立案することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	紙上事例を用いて計画立案までを行う中で、適宜課題の提出を課す。課題は添削し学生に指導後返却する。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	講義・演習とも積極的に参加すること。やむを得ず欠席した場合は、必ずその部分の学習を補い、届出等は速やかに提出すること。課題の提出を繰り返す行いので、期限を厳守して提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義・個人ワークでは集中しており、疑問点は積極的に質問して解決できること。		20				
レポート/作品	「介護過程」の練習課題で評価をする。評価基準 S は情報の分類が適切であり、情報をもとに分析・解釈が十分に行われ、課題・ニーズの表現が適切である。学習した内容や文献を参考にして計画立案していること。		10	20			
発表							
小テスト							
試験	「紙上事例による介護過程」を試験とし、介護過程評価表に従って、①情報 ②分析・解釈 ③課題・ニーズ ④目標 ⑤計画の各要素の内容を評価する。評価基準 S は、各要素が十分に考えられ基本通りに記載できていること。		10	40			
その他							
合 計				40	60		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要 授業の目標と学習の成果 評価方法等の説明)介護過程とは何か 【講義】
	事前・事後学習	自分の生活で困っていること(課題)は何かを考えてくる。
2	授業内容	介護過程の意義・目的、介護過程の理解(アセスメント) 【講義】
	事前・事後学習	介護過程の流れをノートに転記し、アセスメントが説明できるように内容を調べる。
3	授業内容	介護過程の理解(計画立案、実施、評価) 【講義】
	事前・事後学習	計画立案から評価までの内容を調べ、ノートに記載する。
4	授業内容	アセスメント① 情報とは 観察とは 他者を観察する 【講義・演習】
	事前・事後学習	家人や友人に協力していただき、情報収集の練習をする。(プリント記載)
5	授業内容	アセスメント② 情報整理 アセスメント1・2の記入 【個人ワーク】
	事前・事後学習	授業で終わらなかったアセスメント1・2の記入を行う。
6	授業内容	アセスメント③ 情報整理 ICF の枠組みに沿った情報の整理 <課題提出①> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の整理を行い、ICF の枠組みに沿った分類で記載を行う。
7	授業内容	アセスメント④ 情報の分析・解釈・統合 全体図・関連図の構成 【講義・個人ワーク】
	事前・事後学習	全体図、関連図を仕上げる。
8	授業内容	アセスメント⑤ 情報の分析・解釈・統合 情報の関連付けと統合 【講義・個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の統合の用紙を仕上げる。複数のニーズを考える。
9	授業内容	アセスメント⑥ 情報の分析・解釈・統合 <課題提出②> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の統合用紙の記載を基に、分析、解釈、統合の文章を完成させる。
10	授業内容	アセスメント⑦ ニーズ・課題の抽出 【講義・個人ワーク】
	事前・事後学習	複数のニーズ・課題を考える。
11	授業内容	計画立案、(目標、具体策)、実施・評価とは <課題提出③> 【講義・個人ワーク】
	事前・事後学習	目標と具体策を考え、計画を完成させる。
12	授業内容	グループ・ディスカッションによるニーズの検討 【グループ・ディスカッション】
	事前・事後学習	次回使用する課題を読み、重要な情報にチェックを入れてくる。
13	授業内容	事例による介護過程の展開① アセスメント1・2の記入 【個人ワーク】
	事前・事後学習	アセスメント1・2の記載を完成させる。
14	授業内容	事例による介護過程の展開② ICF の枠組みで情報の整理 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の整理までを完成させる。
15	授業内容	事例による介護過程の展開③ 分析・解釈・統合 <課題提出は試験時> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	期限内に課題が提出できるよう、分析・解釈・統合～具体策までを完成させる。